



俳句のまちあらかわ フォト俳句コンテスト

受賞作品発表

松尾芭蕉や正岡子規など多くの俳句を詠み、区内各地に句碑が建立されている俳句ゆかりの地である荒川区は、「俳句のまちあらかわ」として、俳句文化の裾野を広げる活動に取り組んでいます。今回、この取り組みの一環として、「俳句」と「写真」を組み合わせた「俳句のまちあらかわフォト俳句コンテスト期間／令和2年10月1日(木)～令和3年1月15日(金)」を実施し、区内外から合わせて747句の素晴らしい作品が集まりました。ここでは、一般の部・こどもの部、それぞれの受賞作品を発表します。

企画・制作／東京新聞広告局
主催／荒川区 後援／俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会

選者紹介

対馬 康子氏
俳人
現代俳句協会副会長
Eテレ「NHK俳句」選者

佐々木 忠利氏
俳人
荒川区俳句連盟会長
荒川区文化総合講座俳句講師

西村 我尼吾氏
俳人
「天為」課題句選者・事務局長
芝不器男俳句新人賞選考委員

長年フォト俳句コンテストの選者を務めてくださり、有馬朗人先生が昨年12月にお亡くなりになりました。有馬先生のご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

こどもの部

対馬 康子選

カブトムシ
さみはどこから
きたんだい
荒川区立
第七峡田小学校一年
金澤 奏太

対馬 康子選

冬晴れの
光をあびる
未来へのきつぷ
荒川区立
第三瑞光小学校六年
鈴木 深森

佐々木 忠利選

鐵道街
お店の中も
冬景色
荒川区立
大門小学校六年
品田 麻衣

佐々木 忠利選

ななはけの
わたろうかよ
冬ひなた
荒川区立
第七峡田小学校二年
高松 紗歩

西村 我尼吾選

霜がふる
空にざたいする
スカイツリー
荒川区立
第三瑞光小学校六年
布井 景虎

西村 我尼吾選

日焼けした
祭りの神も
逃げてゆく
荒川区立
第三瑞光小学校六年
宮下 菜優

対馬 康子選

手の上に
冷たい水が
走りだす
荒川区立第三瑞光小学校六年
小川 夏芽

選評
蛇口から出た冬の冷たい水が手に触れて、生き生きとしています。新型コロナウイルスに感染しないように、学校でも何度も手を洗わなくてはいいませんが、そういうことに負けない明るさが「走りだす」に出ていて感動します。

佐々木 忠利選

冬桜
新たな命の
幕開けだ
荒川区立第三瑞光小学校六年
續 敬太

選評
曇りや寒さにも強く冬に咲かせる桜を冬桜と云うが、これが咲き終われば、待ちに待った本格的な桜の季節。「新たな命の幕開け」と比喻を以て表現され、力強く、前向きで一途な心に秘めたその姿が頼もしく素晴らしい。

西村 我尼吾選

朝早く
胸をはる貨物
初仕事
荒川区立第三瑞光小学校六年
辻本 佳資

選評
南千住貨物ターミナルで、コロナ禍でも頑張る。青をはさんで赤が2両、胸を張ってスタートラインについている様子を、少し斜めのアングルから捉えることにより、言葉の比喻を目に見える形で表したのが素晴らしい。

一般の部

対馬 康子選

下町の
俳句が自慢
秋日和
三浦 靖男

対馬 康子選

初夏の街
女みこしの
威勢よさ
小野田 淳二

佐々木 忠利選

狛犬の
首輪に太し
茅の輪かな
三田 忠彦

佐々木 忠利選

晩秋や
昭和に帰る
三ノ輪橋
横山 隆英

西村 我尼吾選

行秋や
雲が流れる
富士見坂
山茶

西村 我尼吾選

千支になる
願いは猫の
初夢か
加那屋こあ

対馬 康子選

尾を伸ばし
銀河に流れ
ゆく都電
小湊 こぎく

選評
生活に身近な都電を、幻想的に詠んでいます。秋の暮れ、家々からたくさん小さな明りが銀河のように灯り始め、その中を荒川線が見えない星空へ尾を曳くようにゆっくりと走ってゆく。都会の哀感が素敵な句です。

佐々木 忠利選

しぐるるや
道灌に蓑
ささげたし
牧やすこ

選評
太田道灌の山吹伝説を想起させる作品。降ったり止んだりの雨で濡れる道灌像に蓑を傘代わりに掛けたいと云う近年人々に欠けている思いやりのある優しい心。人や物を思う心の大切さを表白。簡明な表現に食指が動く。

西村 我尼吾選

七草の
粥の湯気たち
男衆
小幡 淳

選評
写真には表れていない、男衆の大変な努力の結果だけを黒色だけで、しかも意表をつく魔タイヤの積み上げて表現したのがすばらしい。男衆という言葉に、仲良くおいしい七草粥に舌つづみを打っている様子がうかがう。

西村 我尼吾選

プールはね
冬になつたら
緑色
荒川区立
第七峡田小学校五年
齋藤 愛梨奈

西村 我尼吾選

なかいいよ
さむい中でも
だいすきだ
荒川区立
第七峡田小学校一年
小久保 蒼祐

西村 我尼吾選

尾久の原
二周回走る
息白し
荒川区立
大門小学校六年
青山 文緒

佐々木 忠利選

街の中
都電が走る
薔薇の道
荒川区立
第七峡田小学校五年
成田 はな

佐々木 忠利選

さりげない
冬の本だけど
魅力的
荒川区立
第七峡田小学校五年
猪俣 結衣

佐々木 忠利選

冬の空
光かがやく
スカイツリー
荒川区立
第七峡田小学校五年
森 郁人

対馬 康子選

葉が無い水
魚の骨に
見えてくる
荒川区立
第七峡田小学校五年
関寺 彩心

対馬 康子選

冬の里
夕暮れ空に
待ちわびて
荒川区立
第七峡田小学校三年
谷地 心優人

対馬 康子選

冬の日に
太陽が出る
木の葉から
荒川区立
第七峡田小学校四年
森田 真翔

西村 我尼吾選

店並みの
賑わい早し
半夏生
津布久 郁夫

西村 我尼吾選

路線図の
ほのかに浮かぶ
暮れの秋
横山 隆英

西村 我尼吾選

初写真
遠くに平和
見つけおり
山本 篤子

佐々木 忠利選

智恵子抄
読みふける手に
いてふ散る
斎藤 寿美子

佐々木 忠利選

鏡癪に
指入れてみる
秋の風
小湊 こぎく

佐々木 忠利選

笛の音の
艶出て来たり
初詣
田中 礼子

対馬 康子選

初句会
律は小走り
羽二重へ
渡辺 長二

対馬 康子選

六地藏
供花に紅葉も
添へられて
牧やすこ

対馬 康子選

防災無線
今夜は大根
炊こうかな
あめ